

# ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.79, June 2012

---

---

ARSC 事務局：〒164-0003 東京都中野区東中野 3 丁目 9 番 21 号  
ウノサワビル (株)メッツ研究所内  
応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023  
会長：黒田達朗 担当：宮本成雄  
TEL: (03)3371-6242  
FAX: (03)3371-6247  
E-mail: clerk@arsc.org

---

---

主要項目： 運営委員選挙の結果  
運営幹事等役員の選任  
第 26 回研究発表大会のご案内  
2012 年度坂下賞候補者の推薦  
第 2 回アジア地域科学セミナーのご案内  
2011 年度学会決算概要  
2012 年度第 1 回運営委員会の概要  
事務局だより

## 1. 運営委員選挙の結果

---

ARSC 選挙管理委員 赤木博文 森杉雅史

2012-2013 年度 ARSC 運営委員選挙は、2012 年 3 月 16 日締め切りで実施されました。開票集計の結果、以下の 20 名の方々が選出され、運営委員に就任されましたのでご報告いたします。

### 応用地域学会 2012～2013 年度運営委員(敬称略順不同)

浅田義久、石倉智樹、岩田真一郎、貝山道博、金本良嗣、衣笠達夫、松島格也、水野敬三、森知也、小川光、岡部篤行、奥村誠、坂本博、佐々木公明、瀬古美喜、田渕隆俊、塚井誠人、堤盛人、山鹿久木、曾道智

(以上 20 名)

## 2. 運営幹事等役員の選任

---

事務局担当 宮本成雄

新しい運営委員のもと、運営委員会が5月19日(土)に開催され、以下のように2012年度の運営幹事等の役員、並びに各委員会委員が選任、又は任命されました。(敬称略・順不同、下線付きは、新任)

- (1) 運営幹事 (2012～2013 年度)
  - ・総務 浅田義久 (日本大学)
  - ・渉外 田淵隆俊 (東京大学)
  - ・会計 松島格也 (京都大学)
- (2) 監査委員 (2011～2012 年度)
  - ・衣笠達夫 (追手門学院大学)、平澤亨輔 (札幌学院大学)
- (3) 選挙管理委員 (2011～2012 年度)
  - ・赤木博文 (名城大学)、森杉雅史 (名城大学)
- (4) 2012 年度大会 (青森公立大学) プログラム編集委員
  - ・委員長 水野敬三 (関西学院大学)
  - ・委員 猪原龍介 (青森公立大学)、塚井誠人 (広島大学)、堤盛人 (筑波大学)、山鹿久木 (関西学院大学)
- (5) 2011 年度坂下賞選考委員会
  - ・委員長 佐々木公明 (尚絅学院大学)
  - ・委員 瀬古美喜 (慶応大学)、小林潔司 (京都大学)  
黒田達朗 (ARSC 会長)、中村良平 (ARSC 副会長)

## 3. 第26回研究発表大会のご案内

---

第26回研究発表大会実行委員長 猪原龍介(青森公立大学)

2012 年度大会は、青森公立大学 (青森市) において、下記要領で開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。積極的な参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

### (1) 大会概要

- ①期 日 2012 年 11 月 17 日 (土)、18 日 (日)
- ②会 場 青森公立大学 (〒030-0196 青森市合子沢山崎 153-4)
- ③参加費 会員・学生は無料、非会員は 2,000 円

大会の詳細につきましては、下記の大会ホームページをご覧ください (6 月上旬より公開)。

<https://sites.google.com/site/arsc2012aomori/>

## (2) 発表申込

### ①発表者の条件 ARSC 会員であること

※非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。

### ②下記についてご記入の上、お申し込み下さい。

(大会ホームページから「発表申込用紙」をダウンロードしてください)。

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、電話、ファックス、E-mail アドレス
- d. 発表題目 (和・英のいずれか)
- e. 要旨 (和文 200 字、英文 100 語程度。いずれかを記載)
- f. 発表時の使用言語 (日本語または英語)
- g. 希望討論者 (候補者 2 名まで)

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

- h. 発表区分 (「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照)

### ③申込方法 申込用紙はできるだけ E-mail に添付してお送り下さい。

メールの件名は「**arsc 申込(名前)**」として下さい。

発表申込用紙のファイル名は「**application(名前)**」として下さい。

(例 application(猪原龍介)など)

なお、郵送または fax での申し込みも可能です。

### ④申込先 E-mail arsc2012aomori@bb.nebuta.ac.jp

住所 〒030-0196 青森市合子沢山崎 153-4

青森公立大学経営経済学部 猪原龍介研究室

電話 017-764-1653、FAX 017-764-1643

### ⑤申込期限 2012年9月3日(月) 必着

## (3) セッション構成と企画の募集

- ・ 下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。
- ・ 2012年9月3日(月)までに企画提案をお送りください。(送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません。)
- ・ 本年度は東日本大震災から1年半ということと、大会開催地が被災地であることから、震災復興に関する研究報告も受け付けております。一般セッションでの報告のほか、特定セッションへの企画応募についてもよろしくお願ひします。

一般セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード（事例）に限定することなく、ARSCにとって関連のある論題を積極的にご報告ください。</li> <li>《地域問題》 成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画</li> <li>《都市問題》 都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政</li> <li>《交通》 都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信</li> <li>《環境》 影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災</li> <li>《国際問題》 開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税</li> </ul>
Early Birdセッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が単著で申し込んだ発表から構成されます。</li> <li>ARSCの将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。</li> </ul>
特定セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（これまでに「交通混雑緩和と料金政策」、「知識の創造・伝搬と集積の経済」、「人口経済学的アプローチ」などの特定セッションが組まれました）。</li> <li>このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。</li> </ul>
シンクタンク・セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。</li> <li>このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起を基に構成されます。</li> <li>賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの企画提案をお待ちしております。</li> </ul>

#### (4) 今後の予定

##### ①大会プログラム

- 10月上旬に確定し、ARSCのホームページとニュースレターを通じてお知らせします。

##### ②発表原稿

- 最終の発表原稿を10月26日(金)までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

E-mailに添付して送られる場合は、必ずPDF形式にしてください。

大会事務局宛てのメールの件名は「**arsc論文(名前)**」として下さい。

論文のファイル名は半角アルファベットで「**paper(name)**」として下さい。

(例 paper(ihara, ryusuke)など)

座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

- 事務局に論文をPDFで送付していただければ、大会HPに報告論文をアップロードします。(アップロードの期間は本年中とします。)アップロードを希望しない場合は、メールにその旨を明記してください。
- 発表会場には、論文またはそれに準ずるもののコピーを30部程度用意してください。

- ・発表会場には Windows のパソコンと Office Professional 2010 を準備する予定です。  
また PDF も利用可能です。

#### (5) 2011 年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 猪原龍介 青森公立大学 委員 木立 力 青森公立大学 委員 森田 学 青森中央学院大学
プログラム委員会	委員長 水野敬三 関西学院大学 委員 猪原龍介 青森公立大学 委員 塚井誠人 広島大学 委員 堤 盛人 筑波大学 委員 山鹿久木 関西学院大学
大会事務局・ お問い合わせ	〒030-0196 青森市合子沢山崎 153-4 青森公立大学 猪原龍介研究室 電話 017-764-1653 E-mail arsc2012aomori@bb.nebuta.ac.jp

#### 4. 2012 年度坂下賞候補者の推薦について (候補者を公募します)

坂下賞選考委員会委員長 佐々木公明(尚絅学院大学)

応用地域学会では、日本における地域科学の研究を発展させ、当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち、若い研究者を奨励することを目的として、毎年 1 名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ受賞時に満 40 歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか (あるいは複数の領域) で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

昨年から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご推薦下さい。

##### <募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者 (候補者) 1 名につき、推薦者 1 名 (自薦も可)

応募書類：推薦書 (A4 一枚：推薦書様式参照) および業績リスト (様式は任意)

締切：2012 年 9 月 15 日 17 時 (必着：メールの場合は受け取りを確認すること)

宛先：下記まで PDF あるいは WORD のファイルをメールに添付して送付。

あるいは郵送のこと。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-1 (780)

名古屋大学 環境学研究科

黒田 達朗 宛

e-mail: [tkuroda@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:tkuroda@cc.nagoya-u.ac.jp)

なお、推薦された候補者は、坂下賞選考委員会で、委員会推薦の候補者と併せて審議され、受賞者が決定されます。受賞者は、応用地域学会総会(2012年11月17日、於青森公立大学)で、発表・表彰いたします。

2012年度坂下賞選考委員会

委員長 佐々木公明 (尚絅学院大学)

委員 瀬古美喜 (慶応義塾大学)

小林潔司 (京都大学)

黒田達朗 (ARSC 会長)

中村良平 (ARSC 副会長)

## 5. 第2回アジア地域科学セミナーのご案内

事務局担当 宮本成雄

応用地域学会が中国、台湾、韓国の地域学会と共催する第2回アジア地域科学セミナーは、ご案内のとおり、9月29日(土)、30日(日)北九州市で開催されます。セミナーでの発表申し込みはすでに締め切り、開催委員会によりプログラムの作成作業を現在行っております。海外からの報告も多く、アジアにおける地域科学研究者の活発な情報交換・交流の機会となりますので、発表の有無に関わらず、奮ってのご参加をお待ちしております。

**開催日** 2012年9月29日(土)、30日(日)

**場 所** 公益財団法人国際東アジア研究センター (ICSEAD)

〒803-0814 福岡県北九州市小倉北区大手町 11-4

<http://www.icsead.or.jp/>

**参加費** 一般 ; 10,000 円 学生 ; 5,000 円

(昼食2回、29日夜の懇親会費を含みます)

**論文発表申し込み** 締め切りました。

**Full paper 締切 (発表者)** 2012年8月31日(金)

**参加申込** e-mail [dai@icsead.or.jp](mailto:dai@icsead.or.jp)

(公益財団法人国際東アジア研究センター 戴 二彪 先生)

**問合せ** e-mail [sakamoto@icsead.or.jp](mailto:sakamoto@icsead.or.jp)

tel;093-583-6202 fax;093-583-4602

(公益財団法人国際東アジア研究センター 坂本 博 先生)

## 6. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

---

「応用地域学研究」編集委員長：大澤 義明（筑波大学）

現在、「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けていますが、年2回の雑誌刊行の予定に合わせて、1月20日と7月20日の締め切り日を設けております。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。雑誌は年2回の刊行を心がけております (<http://www.arisc.org/>を参照ください。)。奮ってご投稿下さい。特に、若い研究者によるご投稿、地域課題に関する問題解決型論文、震災復興など適時性に優れた論文のご投稿をお待ちしております。

1. 論文投稿希望の方は、論文はできるだけ word 形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。**宛先は、編集委員長です (e-mail: [osawa@sk.tsukuba.ac.jp](mailto:osawa@sk.tsukuba.ac.jp))**。LaTeX で作成された原稿で pdf ファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿は word でお願いすることがあります。

2. 受付の確認を電子メールで送付いたしますので、投稿後一ヶ月を過ぎても連絡が無い場合は、下記までお問い合わせ下さい。

3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行1ヶ月後に掲載論文を学会HPにて公開します。

---

応用地域学研究編集委員長

大澤 義明

筑波大学システム情報系社会工学域

TEL& FAX 029(853)5224

E-Mail [osawa@sk.tsukuba.ac.jp](mailto:osawa@sk.tsukuba.ac.jp)

## 7. 2011 年度決算(案)について

---

事務局担当 宮本成雄

2011 年度(2011 年 4 月 1 日~2012 年 3 月 31 日)学会決算 (案) 概要を以下のようにご報告します。表中、「応用地域学研究」の刊行費が計上されていませんが、3 月の発行に対し、支払いが 2012 年 4 月以降にずれ込んだためです。また、これに加えて、アジア地域科学セミナーが延期されたこともあって、繰越金は多くなっております。詳細は、監査委員による監査を受け、総会での承認後のニューズレターで報告いたします。

なお監査委員は、昨年に引き続き、衣笠達夫（追手門学院大学）及び平澤亨輔（札幌学院大学）の両先生にお願いしています（前掲）。

## 2011 年度決算（案）概要

（単位：万円）

収 入		支 出	
繰越金	791	RURDS 関連	280
会費（国内、国際、賛助）	472	「応用地域学研究」刊行	0
大会参加費等（年次）	68	大会開催費（年次、坂下賞）	107
その他（助成金等）	81	国際会費	26
		事務費、その他	112
収入合計	1,412	支出合計	529
（繰越金を除く収入計）	（621）	繰越金	883

## 8. 会員管理システムについて

事務局担当 宮本成雄

### <システムの活用状況>

この2月から会員管理システムを本格運用しました。下表から、多くの会員の皆様が会員ページにアクセスし、登録情報等を確認し、必要に応じ更新されていることがわかります。また、名簿閲覧は、非常に便利に使っているというご意見も頂いております。会員ページへのアクセス件数は、カウントされていないので、正確には判りませんが、多くの会員の方に有効に使われていると推察しております。

### <システムの活用状況>

（件）

	2月	3月	4月	5月	計
会員による更新	37	30	13		80
入会申請処理			1	5	6
退会申請処理		1(4)	1	1	3(4)
入金処理(事務局)	99	90	77	11	277

\* 退会申請の( )内は、事務局での処理件数

### <登録情報等の確認のお願い>

多くの皆さまに会員ページにアクセスしていただき、登録情報等の確認をいただいておりますが、まだ一部、登録情報に不具合があります。勤務先の異動、学生から一般への異動、メールアドレスの変更などに際しては、速やかに登録情報変更をお願いいたします。また、会員ページにアクセスされていない方には、是非、アクセスし、登録情報を確認していただき、必要に応じ変更等をお願いいたします。

（ 会員ページ ; <https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arsc> なお、ログイン ID、パスワードのお判りでない方は、問い合わせください。）

なお、会員ページからは、登録情報の変更の他、会員名簿閲覧、入金状況の確認等ができます。有効にご活用いただきますようお願いいたします。



## 9. 2012年度第1回運営委員会報告（概要）

事務局担当 宮本成雄

2012年度第1回運営委員会が5月19日(木)に行われました。議事録等の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

- ・運営委員選挙結果報告(前掲)
- ・運営幹事等選任（前掲）
- ・2011年度決算（案）報告（前掲）
- ・第26回研究発表大会の開催について（前掲）
- ・第2回アジア地域科学セミナーの開催について(前掲)
- ・坂下賞について（前掲）

坂下賞選考委員会は、規約により、赤松隆先生が退任し、前掲のように2012年度の新しい委員に、小林潔司先生(京都大学)が選任されました。委員長には、佐々木公明先生(尚絅学院大学)に引き続きお願いすることになりました。新しいメンバーのもと、昨年に引き続き、坂下賞候補者を公募し(前掲)、受賞者を選考していくことになりました。

### ・応用地域学研究

\*編集委員長大澤義明先生から、No. 17に対する投稿は、現在4本のみ、投稿が少ない理由として、査読によるハードルが高い、投稿に対するインセンティブが低い(掲載が学位論文等に優位に働いていない等)、などがあるとの報告がありました。

\*投稿数を増やす方法を今後検討していくということで以下のような意見が出されました。

- ・査読を簡素化する方向も検討する。
- ・大会発表論文特集（proceedings としての査読付き）を組む。
- ・アーリーバード発表は、ジャーナルへの掲載を推奨・優待する。
- ・編集委員会指名による投稿依頼、中堅・ベテランの投稿を促す。
- ・掲載が学位論文の条件となるよう、各大学での働きかけをする。

### ・RURDS

\*編集委員長黒田達朗先生から、RURDSのダウンロード件数は、欧米を中心に順調に増加しているものの、投稿数は、総じて少なく、かつ質の問題もある。対応として、Special Issueを出す（北九州セミナーの投稿のまとめ等）、掲載論文に対して賞をつける、等も検討しているとの報告がありました。

\*応用地域学研究、RURDSへの投稿を促すため、会員の掲載論文に対し、“応用地域学会論文賞”（年間1～2編）を創設することで今後詰めていくことになりました。

- ・会員管理システムについて(前掲)

## 10. 事務局だより

---

事務局担当 宮本成雄

### □ARSC 会員現勢

2012 年 5 月末日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 474 名(内、一般会員 413 名、学生会員 52 名、海外会員 9 名)

賛助会員 8 団体(総口数 10 口)。

- 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規入会手続きは、ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>) 又は、<https://service.kktcs.co.jp/smms2/entry/arsc> からお願いいたします。
- 事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思えます。
- ホームページ、メーリングリストへの問い合わせは下記にお願いします。

◆ホームページの更新等に関する情報提供・問い合わせ ; [ohashi@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:ohashi@cc.hirosaki-u.ac.jp) (大橋)

◆メーリングリストに関する問い合わせ ; [clerk@arsc.org](mailto:clerk@arsc.org) (宮本)